

地域貢献に関する経済効果分析 報告書

平成27年8月
明治国際医療大学

1. 地域との連携活動

本学では平成 26 年度南丹市市民提案型まちづくり事業に、柔道部を中心とした「園部町お掃除プロジェクト」が採択され、交付金によって清掃活動に必要な消耗品等を購入し、年間 6 回にわたり地域住民の皆さんとともに清掃活動を実施した。

2. 目的

以前から学内を中心に清掃活動を行ってきたが、徐々に足を延ばし園部駅周辺の清掃活動も実施してきた。このような活動を踏まえ園部町の清掃活動によりゴミのポイ捨て状態を撲滅し、住民のモラルを高め、より安全で安心な住みやすい町を目指すとともに、活動を通じて地域住民と親交を深めることを目的とする。

3. 実施日及び参加人数

- ①平成 26 年 6 月 8 日（日）8：00～9：30 学生参加 6 人
小山東町第 2 公園の清掃
- ②平成 26 年 7 月 9 日（水）9：30～11：00 学生参加 53 人
木崎町全域の清掃
- ③平成 26 年 9 月 23 日（火・祝）8：00～9：30 学生参加 20 人
小山東町全域・第 2 公園の清掃
- ④平成 27 年 2 月 7 日（土）9：30～11：00 参加学生 29 人
木崎町一部の清掃
- ⑤平成 27 年 2 月 22 日（日）9：00～10：00 参加学生 13 人
第 8 回桂川流域クリーン大作戦（2008 年開始、第 7 回 3,400 人参加実績）
園部川及び川沿いの道路の清掃
- ⑥平成 27 年 3 月 15 日（日）8：00～9：30 参加学生 14 人
小山東町全域・第 1 公園周辺道路の清掃

4. 経済効果

上記 6 回のボランティア清掃活動に、本学学生が延べ 135 人参加したことにより、一般的な業者が同様の清掃を行う費用 1,262,250 円を地域に貢献できたと考える。

費用計算：1 時間当たり 1,100 円×8.5 h×135 人

活動報告書

団体名	明治国際医療大学柔道部
事業の名称	園部町お掃除プロジェクト
<p>実施した事業の内容</p> <p>(活動内容、実施日時、場所、参加状況等)</p>	<p>① 2014年5月20日(火) 15:00~16:00、小山東町の熊谷区長との打合せ</p> <p>② 2014年6月3日(火) 15:30~16:30、木崎町の寺尾区長との打合せ</p> <p>③ 2014年6月8日(日) 8:00~9:30、小山東町第2号公園の清掃(約90名参加)</p>     <p>④ 2014年6月24日(火) 15:30~16:30、木崎町の寺尾区長との打合せ</p>

⑤ 2014年7月9日(水) 9:30～11:00、木崎町全域の清掃(66名参加)



⑥ 2014年9月3日(水) 9:00～10:00、小山東町の熊谷区長との打合せ

⑦ 2014年9月23日(火・祝) 8:00～9:30、小山東町全域・2号公園の清掃(約90名参加)



⑧ 2014年12月24日(水) 9:30~10:00、木崎町の寺尾区長との打合せ

⑨ 2015年2月3日(火) 9:00~10:00、木崎町の寺尾区長との打合せ

⑩ 2015年2月7日(土) 9:30~11:00、木崎町一部の清掃(39名参加)



⑪ 2015年2月22日(日) 9:00~10:00、園部川及び川沿いの道路の清掃(92名参加)



事業の反省点や課題	<p>反省点</p> <p>①住民の年齢層が高く、アパートの多い地域での住民の参加が少なかった(参加人数を向上させるには、長期的・継続的な活動が必要)。</p> <p>②ゴミのポイ捨てが後を絶たない。</p> <p>③住民と学生との積極的な親交が少ない。</p> <p>今後の活動</p> <p>①清掃しながらのポイ捨て禁止看板を設置する。</p> <p>②幼稚園児や小学生と一緒に清掃しながら彼らを啓蒙する。</p> <p>③清掃しながらブルーライトを設置する。</p> <p>④イベントに参加した後の清掃活動をする。</p>
交付金を活用した結果団体にどのような変化があったか	<p>■他団体との連携が増えた ■団体の認知度が高まった</p> <p>■団体内の繋がりが深まった ■団体の成長が実感できた</p> <hr/> <p>自由記述欄</p> <p>「普段気にとめなかった道端にもごみがたくさん落ちていることが分かった。これからは目についたごみを拾うように心掛けたい」と京都新聞のインタビューで答えたような心境の変が現れた。また、活動を重ねる度に、地域住民に受け入れられ、自然と挨拶もできるようになった。</p>